

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	浜松学院大学（学部・学科等の課程）				設置者名	学校法人 興誠学園				
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和５年度）				
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
							実数	個別		
現代コミュニケーション学部	子どもコミュニケーション学科	平成19年度	70人	幼稚園教諭一種免許状	平成19年度	63人	55人	33人	46人	
				小学校教諭一種免許状	平成23年度			23人		
				特別支援学校教諭一種免許状	平成25年度			38人		
	入学定員合計			70人	合計		63人	55人	94人	46人
	備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和６年４月１日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

教職課程認定大学の实地視察に対する講評

実地視察日：令和6年11月14日（木）

実地視察大学：浜松学院大学（オンライン）

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、一部是正が必要な箇所はあるものの、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○大学として教員養成に対する理念として、目指す保育者・教育者像を明確に挙げているが、その目標を具体化するために、今後も教職課程に対する全学的な組織の在り方の検討及び教職課程や教員組織がより一層充実したものとなるよう努めていただきたい。

○「大学における教員養成の原則」の趣旨を踏まえ、実践的な教育だけでなく、理論的な教育についてもバランスよく行う必要があるため、実践を研究に活かすことのできる教員組織等の環境整備や、研究家教員と実務家教員が一堂に会し、教職課程について議論を深められるようなFD等の取組について、今後検討いただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

○シラバス全般について、教職課程コアカリキュラムや特別支援コアカリキュラム等を踏まえつつ、学生の資質・能力を向上に資する理論と実践のバランスが取れた内容となるよう、見直しを求める。

3. 教育実習の取組状況

○学校体験活動については、学生に対する教育的効果も期待されることから、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。その実践を、さらに理論との往還に活かせるような取組の充実を期待する。

○教育実習の相談体制について、指導教員の学校訪問に加え、学生が困ったときの相談体制について一定の工夫があることが確認できた。今後は、教育委員会との教育実習に係る情報共有の機会を設ける等、取組の充実を図られたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 「HGU 教師塾」や「ハマガク幼保の会」など、教員採用試験対策だけでなく、教員として実務的に求められる資質・能力の向上を支援する体制が充実している。
- 電子化された履修カルテについて、今後、データの分析や利活用を行ってはどうか。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 地域の学校等における「子どもボランティア実習」や学校体験活動の取組の実績が確認できた。今後は、大学として教育委員会とより密に連携されることを期待したい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設・設備の環境について、概ね良好に整備されていることが確認できた。図書については、教員の意見も踏まえながら充実に努めていただきたい。
- 模擬授業室等について、実際の現場を再現した施設づくりをしていることが見受けられるため、今後においても充実を期待したい。

7. その他特記事項

- 浜松 STEAM 教育研究所において、特に幼児期等におけるプログラミング教育に関する備品が整備されており、それを使った先進的な授業や研究が行われている点が高く評価できる。今後は、当研究所を大学の全学的な組織に位置付ける等、取組を推進するとともに、学校を含めた地域の教育に還元していくことを期待したい。